

Assessment Pro

アセスメント × GAP分析 × 施策プランニング

3ステップでコンサルティング価値をクイックに提供

ASSESS

100問マチュリティ診断

GAP

As-Is vs To-Be比較

PLAN

優先施策プランニング

お客様の課題を可視化し、最短で成果を出すコンサルティングツール

Introduction

AI定着化の現在地を、数日で数字にする。

Assessment Pro — SynapXion 独自のAI定着化マチュリティ診断ツール

数日

アセスメント完了

低コスト

従来型コンサルの一部の費用感

独自モデル

AI定着化マチュリティモデル

ASSESS

GAP

PLAN

MARKET

認知は広がったのに、なぜ「定着」は進まないのか

生成AIという言葉やツールの認知はすでに広がっています。一方で、経営・組織・業務プロセスにまで組み込まれ「定着」していると言える企業はまだ多くありません。

生成AIの認知・試行

多くの企業で高水準

高い、

認知・試行の割合はすでに多くの企業で高い水準にある

全社的なAI定着

まだ限定的な段階

低い、

経営・組織・業務プロセスにまで組み込まれ定着しているのはまだ限定的

なぜ今、AI活用成熟度の可視化が必要か

多くの企業でAI活用の取り組みが進む一方、
「自社の成熟度を客観的に把握し、次の一手を描
けている企業は多くない」のが実情です。

本ツールは、アンケート形式のアセスメントによってこ
の課題を定量的に可視化します。



経営層と現場のギャップ

役職・部門によってAI活用に対する認識やスコアが大き
く異なり、実態が見えにくい。



目指す姿までの道のりが不明

自社の取り組みの現在地がどのポジションにあるのか、
比較する手段がない。



施策の優先順位が決まらない

課題は感じていても、どの施策からどの部署で着手すべ
きかを整理できていない。

アセスメント管理ツールとは

AI活用成熟度アンケートの実施から、GAP分析・ベンチマーク比較・改善アクションの提示までを1つのシステムで完結する、企業向けアセスメントプラットフォームです。



成熟度の可視化

8つのカテゴリ・100+問のアンケートにより、AI活用度をスコアとして定量的に可視化します。



GAP分析

現状(As-Is)と目標(To-Be)のギャップを算出し、組織内の認識の差も定量化します。



分析レポート

GAP分析の結果を可視化し、実行推奨の施策を提示します。



アクションプラン提示

GAPの大きい領域に対し、優先度・対象範囲別の改善施策とスケジュール案を自動提示します。

Assessment Pro 利用の流れ

たった3ステップ、数日以内で完成

専門知識がなくても迷わず進められるよう設計。アセスメント作成から結果の受け取りまで社内で完結します。



アセスメント作成・URL発行

年度ごとにアセスメントを作成し、経営者・マネジメント・リーダー向けの回答URLをそれぞれ発行します。

発行URL数・回答済み・未回答・回答率をリアルタイムに確認しながら、回答者を一元管理します。



GAP分析レポート自動生成

レーダーチャートとカテゴリ別スコアで、As-IsとTo-BeのGAP、組織間差を自動的に可視化します。



施策プランニング

カテゴリ毎に短期・長期・長期に分類したGAPを埋めるための施策案を提案します。

施策を簡易的なプランニングとして出力します。

8カテゴリ × 3階層で、組織の現在地を多面的に診断

AI戦略から文化変革まで8軸、経営者・マネジメント・リーダーの3階層で「認識のズレ」まで可視化します。

8つの評価カテゴリ

- AI戦略・ビジョン
- データ基盤・品質
- AI技術・ツール活用
- 人材・スキル開発
- プロセス・業務改革
- ガバナンス・リスク管理
- 顧客・価値創出
- 文化・変革推進

3階層比較による「認識のズレ」の可視化



経営者

経営戦略・投資判断レベルで評価



マネジメント

部門横断の推進・管理レベルで評価



リーダー

現場・実務レベルで評価

+ URL発行・回答状況のリアルタイム管理

経営者・マネジメント・リーダー、3階層の認識のズレを1枚で見える化

同じ設問に3つの階層がそれぞれ回答し、As-IsとTo-Beの差(GAP)と階層間の認識差(組織間差)を自動可視化します。



レーダーチャート(As-Is vs To-Be)ー 経営者・マネジメント・リーダーそれぞれの回答と、To-Be目標との差をひと目で比較できます。

カテゴリ別スコア詳細 — 自動算出される8軸×階層の定量データ

AI戦略から文化変革まで8カテゴリについて、階層別スコア・平均・To-Be・GAP・役職間差・評価を自動算出します。

カテゴリ別スコア詳細								
As-Is（現状平均）とTo-Be（目標）のGAP、および組織間差								
カテゴリ	経営者	マネジメント	リーダー	平均	To-Be	GAP	役職間差	評価
AI戦略・ビジョン	4.3	3.5	2.8	3.5	5.0	▲1.5	1.5	要改善
データ基盤・品質	4.0	3.4	2.6	3.3	5.0	▲1.7	1.4	要改善
AI技術・ツール活用	3.4	3.4	3.2	3.3	4.5	▲1.2	0.2	要改善
人材・スキル開発	4.2	3.7	3.2	3.7	5.0	▲1.3	1.0	要改善
プロセス・業務改革	3.6	3.3	3.0	3.3	4.5	▲1.2	0.6	要改善
ガバナンス・リスク管理	4.6	3.3	2.8	3.6	4.5	▲0.9	1.8	軽微
顧客・価値創出	4.4	3.2	3.2	3.6	5.0	▲1.4	1.2	要改善
文化・変革推進	4.3	3.5	3.0	3.6	4.5	▲0.9	1.3	軽微

カテゴリ別スコア詳細 — As-Is(現状平均)とTo-Be(目標)のGAP、および組織間差を自動算出。「要改善／軽微」の評価も自動で付与されます。

Assessment Proの強み

速さ・精度・実行支援を兼ね備えた設計

01 SPEED & COST

圧倒的なスピードとコスト

従来、数週間～数ヶ月かけていた現状分析～GAP分析～施策立案を、独自マチュリティモデルとツール化によって数日単位まで短縮。費用も従来型コンサルティングの一部に抑えます。

02 ACCURACY & REPRODUCIBILITY

独自マチュリティモデルによる高い 精度と再現性

担当コンサルタントの経験に依存しない定量評価。8カテゴリ×3階層を掛け合わせた独自モデルで、部署間・拠点間・階層間でも比較可能な再現性の高い評価結果を提供します。

03 END-TO-END SUPPORT

診断で終わらない、実行までの徹底したフォロー

診断結果はそのまま、施策展開計画(Asset2)やPoC・投資判断(Asset3)、本格展開(Asset4)への足がかりとなり、次の一手に迷わせません。

Assessment Proの優位性

従来のアセスメント手法との違い

汎用的な自己診断ツールとも、担当者の経験に頼る従来型コンサルティングとも異なる立ち位置です。

比較項目	汎用AI診断ツール	従来型コンサルティング	Assessment Pro
評価対象	ITツール導入状況が中心	案件ごとに範囲を個別設計	✓ 経営・組織・人材・業務プロセスを一体で診断
見える化	全社総合スコアの提示のみ	個別ヒアリングによる印象論	✓ 経営者・マネジメント・リーダーの3階層比較＋組織間差まで可視化
スピード・費用	その場で完了・無料～低額	数週間～数ヶ月・高額	✓ 数日・低コスト
アウトプット	スコアや診断ラベルのみ	詳細レポート(品質差あり)	✓ GAP分析＋実行可能な施策プラン
実行への接続	診断で完結	後続提案が属人化しやすい	✓ 次のAI定着化ステップに一気通貫で接続

トライアル版でお試してからスタート可能

企業規模や対象範囲によって柔軟にカスタマイズできます。詳細はお問い合わせください。

トライアル版

無償

- ✓ アセスメント診断(1部門)
- ✓ レーダーチャート自動生成
- ✓ GAP分析レポート(簡易版)
- ✓ 施策候補リスト提示(一部)
- ✓ サポート:メール

スタンダード版

無償

*コンサルティングサービス利用は別途見積

- ✓ アセスメント診断(全部門)
- ✓ 3階層比較・役職間差分析
- ✓ GAP分析レポート(詳細版)
- ✓ 施策優先度プランニング
- ✓ To-Be設定支援 *オプション
- ✓ サポート:専任担当

エンタープライズ版

要相談

- ✓ 全Standard機能
- ✓ 質問カスタム(独自設計)
- ✓ To-Be策定設定支援
- ✓ 施策プランニング支援 / 実行支援(伴走型)
- ✓ 定点観測・継続診断
- ✓ 専任コンサルタント帯同

お問い合わせ先

お気軽にご相談ください

AI活用の現状把握、次の一手の描き方、投資判断の材料づくりなど、
AI定着化に関するお悩みや疑問はお気軽にご相談ください。

トライアル版を試してみる

詳細な相談をする

サービス提供会社情報：

株式会社SynapXion

※株式会社Speee グループ(東証:4499)

info@synapxion.com

- AI経営変革及びAI組織変革に関するコンサルティング業務
- AIに関する研修及び人材育成支援
- AIインフラ環境及びAIプラットフォームに関連する業務
- DX及びITシステムの企画及び開発業務